学校番号	３０７

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	器楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

吹奏楽の全体合奏のレベルや個人の演奏技術の向上をめざします。授業では、１学期は、コンクール課題曲の基礎練習とコンクール関係楽曲の練習を行います。コンクール後は、アンサンブルや独奏曲の練習を主に行います。３学期に行われるソロコンテストの参加を目標にしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
器楽曲の演奏技術の向上を行い、ソロコンテストにおいて音楽的に豊かな表現ができることを目標としている。
【思考力、判断力、表現力等】
楽曲の練習に際して、思考力、判断力を身に付け、豊かな音楽表現につながるように器楽の基礎的な演奏技術を習得すること。
【学びに向かう力、人間性等】
ソロコンテストにむけて、舞台で演奏するための表現や演奏技術について、主体的な音楽的表現を身につけ、豊かな表現ができるような態度を養う事。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技術を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	音楽や音楽文化に関心をもち、器楽の学習に主体的に取り組もうする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基礎的な奏法	【基礎的な奏法】 すべての長調、短調のスケールとアルペジオ(リップスラー)を安定して演奏できること。	a:基礎的、基本的な奏法の確立のために主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を理解して、それらの働きを理解して基礎練習に取り組めている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	実技テスト	実技テスト	観　察
	コンクール関係楽曲を練習	【発展1】 大阪府吹奏楽コンクールＡ部門参加のための曲目(課題曲・自由曲)の演奏技術を向上させること。	a：コンクール関連曲を合奏において、正確に演奏できるように主体的に取り組む b:音楽の形式面での理解を深め合奏に取り組めているか。 c:総合的に創造的な豊かな表現をめざす。	実技テスト	実技テスト	観　察
2	アンサンブル曲練習	【発展2】 個人演奏技術向上とアンサンブル向上を目的とする。	a：アンサンブル曲の演奏において、まず個人の演奏技術が正確に演奏できるように主体的に取り組む b:アンサンブル曲において、音楽の形式面での理解を深め合奏に取り組めているか。 c:アンサンブル曲において総合的に創造的な豊かな表現をめざす。	実技テスト	実技テスト	観　察
3	独奏曲を練習	【応用】 各楽器の独奏曲を練習ソロコンテストに出場する。	a：独奏曲の演奏において、まず個人の演奏技術が正確に演奏できるように主体的に取り組む。 b:独奏曲において、音楽の形式面での理解を深め合奏に取り組めているか。 c:独奏曲において発表を目的とした総合的に創造的な豊かな表現をめざす。	実技テスト	観　察	観　察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度